

なく、裁縫・ミシン操作・アイロン操作・製図等の被服製作に伴う実技実習が極めて自然に行なえるのみならず、同時に通常の講義学習も何等の支障なく、その儘自席で黒板に正対できるようにしたもので、技術学習に伴い勝ちな無駄な時間の浪費による学習および作業能率の低下を極度に防止し、学習効果と能率の向上を主目的とし、併せて身近な教材を通して科学的・合理的思考能力涵養のための一資料ともしたいと考えている。

2. 効率的ミシンの使用法を主体とする裁縫能率の向上に就いて研究を進めてきたが、たまたま本校の校舎移転新築に際し、20年来の構想を実現する機会を得、本校被服室に本創案の一部を採用した。この創作に当たっては、一步も自席を移動することなく、つぎの諸条件を充足することを基本要素とした。すなわち、裁縫ができ、ミシンがかけられ、アイロンが使える、製図ができ、しかも主机に関係なく通常の学習ができるという4ないし5項目の相異なる内容を集約し、その最大公約数を機能的裁縫機兼学習機に求めたものである。なお、1機は2人用であるが、2機4人用を1セットとして活用する時、機能はさらに著増する。

3. 時間の浪費は全くなく能率を著しく高めているが使用開始後日が浅く成果について現在資料的に説明できないが後日発表したい。

E-29 脇袖机付裁縫機

県立松戸高 吉田 清英

1. 本研究は、従来一般的な裁縫機を機能的な面から抜本的に改良し、生徒が自己の椅子を全く離れること